



週間情報



No.0534

発行日 令和5年9月19日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

消防本部の動き

行事

◆ 「災害時における消防活動の協力に関する協定」締結式を実施

宮津与謝消防組合消防本部（京都）

宮津与謝消防組合消防本部では、令和5年9月1日（金）、宮津建設業協会、宮津生コンクリート協同組合と、「災害時における消防活動の協力に関する協定」締結式を実施しました。

この協定は、管内において、火災、風水害、地震などの災害が発生した場合に、消防活動の支障となる土砂の撤去や、住宅密集地における大規模火災や消防用水の確保が困難な山林火災などにおいて、消防用水を確保する手段としてミキサー車を活用した水の運搬を依頼できる体制を構築し、消防活動を円滑にすることを目的として締結したものです。

今後も、関係機関との連携を強化し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【締結式後の記念撮影】

訓 練

◆ 解体予定の建物を活用した警防活動訓練を実施

福山地区消防組合消防局（広島）

福山地区消防組合消防局では、令和5年8月28日（月）、管内の解体予定の建物を活用した警防活動訓練を実施しました。

この訓練は、実際の建物を活用し、複数の部隊が時間差で到着する場合における活動の役割分担についての検証と、各部隊との連携体制を強化することを目的として実施したものです。

当日は、先着隊の検索活動と、先着隊の支援を受けながらの後着隊の検索活動などを実施した後、検証を行いました。

今後も訓練を継続し、効率的な災害活動の確立に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 救急シミュレーション訓練を実施

橋本市消防本部（和歌山）

橋本市消防本部では、令和5年8月29日（火）、救急医療週間に当たり、救急シミュレーション訓練を実施しました。

当日は、当消防本部の職員と橋本市民病院の医師と看護師が参加し、内因性、外因性に起因した傷病者を想定して、現場到着から病院収容後までの一連の活動を実施し、訓練後にフィードバックやディスカッションを行いました。

今後も訓練を継続し、職員のレベルアップを図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 外国人クルーを対象とした防火・防災訓練を実施

大阪市消防局（大阪）

大阪市消防局では、令和5年8月30日（水）、合同会社ユー・エス・ジェイの外国人クルーを対象とした防火・防災訓練を実施しました。

この訓練は、2025年大阪・関西万博が開催されることに伴い、外国人旅行客が火災や救急事案に直面する機会が増加すると予想されることから、災害発生時に外国人に対する現場対応能力の向上と、外国人クルーの災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当消防局の職員が英語で119番通報の要領、初期消火の方法、避難誘導の要領、応急手当の要領について説明しました。

官民が連携した取り組みにより、当消防局職員の外国人対応能力の向上と、外国人の災害対応能力の向上を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 消防団放水連携訓練を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和5年9月3日（日）、消防団放水連携訓練を実施しました。

この訓練は、消防団との連携を強化し、放水技術と災害対応能力の向上を相互に図ることを目的として実施したものです。

当日は、30人の消防団員が参加し、当消防局の職員が消防団員に対して適正なポンプ運用ができるよう、中継送水圧力、流量計、流量レンジについて説明した後、ポンプ車への中継送水訓練、連結送水管を活用した放水訓練、はしご車への中継送水訓練を実施しました。

今後も、消防団との実践的な訓練を継続し、地域住民の安全・安心のため、相互に連携した災害活動を実施してまいります。



【訓練の様子】

◆ 林野火災連携訓練を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和5年9月6日（水）、北条スポーツセンターにおいて、愛媛県消防防災航空隊、当市消防団と合同で林野火災連携訓練を実施しました。

この訓練は、野焼きが頻発する時期に、大規模な林野火災が発生した場合に備えるため、同航空隊と同消防団との連携を強化し、火災防御能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当消防局がドローンを活用した火災状況の上空偵察を、同航空隊が空中消火を行い、消防隊と消防団が連携した消火活動を実施しました。

今後も、実践的な連携訓練を継続し、さらなる災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 令和5年度職員安全研修を実施

伊都消防組合消防本部（和歌山）

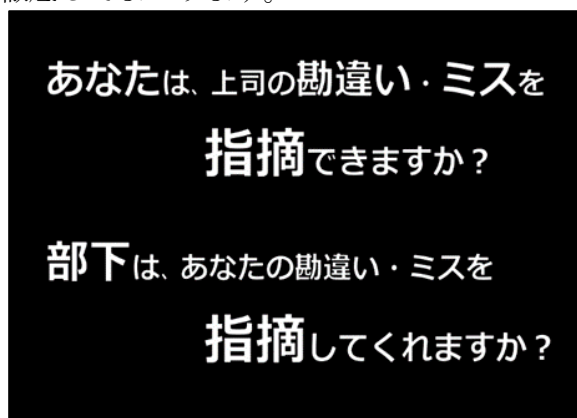
伊都消防組合消防本部では、令和5年8月29日（火）、令和5年度職員安全研修を実施しました。

当日は、富山県東部消防組合消防本部の上樂航氏を講師として、「CRM（クルーリソースマネジメント）」をテーマに、「航空業界の安全管理概念を消防業界に生かす」、「これからのリスクマネジメントについて」をオンラインでご講義いただき、事故原因は技術面だけでなく人的要因が大きく関与することについて理解を深めることができました。

今後も、重大事故が発生しないよう安全管理を徹底してまいります。



【研修の様子】



【研修スライド】

◆ ハラスメント研修会を実施

若狭消防組合消防本部（福井）

若狭消防組合消防本部では、令和5年8月30日（水）、管理職を対象にハラスメント研修会を実施しました。

当日は、公益社団法人葵橋ファミリークリニック首席カウンセラー（臨床心理士）の山本陽子先生を講師にお招きし、「～ハラスメントにならないため～」と題して、アンガーマネジメントとハラスメントにならない効果的な部下の指導法についてご講義いただきました。

研修では、グループワーク形式でT E G（東大式エゴグラム）を用いた自己分析、実際のアンガーマネジメントのやり方、怒りの感情をコントロールして有効な部下指導を行う方法などについて学びました。

今後も、ハラスメントの撲滅に取り組んでまいります。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 令和5年度安全功労者総務大臣表彰伝達式を実施

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和5年8月30日（水）、令和5年度安全功労者総務大臣表彰伝達式を実施しました。

伝達式では、消防長から周東幼稚園幼年消防クラブ会長の宇野英氏に対して、表彰状が手渡されました。

宇野氏は、長年にわたり、避難訓練や防火パレードを開催し、地域住民の安全意識の高揚を図っているほか、クラブ員とともに地域の福祉施設を訪問し、歌や太鼓演技を披露して、高齢者との交流を深める活動を行っています。

同氏の地域の安全に貢献する持続的な取り組みが認められ、受賞されたものです。



【伝達式の様子】



【伝達式後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和5年8月31日（木）、消防協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年8月17日（木）、消防協力者の2人が協力して、河川で流されている男性を救出し、救急隊が到着するまで救護活動を行うとともに、救急車両の進入が困難な河川敷内を自家用車に救急隊員を同乗させ、搬送協力を行ったものです。

本贈呈式は、栃木県警察小山警察署と合同で実施し、諏訪消防長から、「河川の状況を知り尽くしたお二人の勇気ある行動により、尊い命が救われました。」と謝辞を述べました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ おもちゃ花火教室と住宅防火・防災広報を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和5年8月22日（火）、23日（水）の2日間、管内の学童施設に通う児童など約100人に対して、おもちゃ花火教室と住宅防火・防災広報を実施しました。

おもちゃ花火教室では、正しい遊び方を〇×クイズで実施するとともに、着衣着火の消火方法である「ストップ、ドロップ&ロール」を体験し、住宅防火・防災広報では、令和5年9月1日（金）から始まる「住宅防火・防災キャンペーン」に当たり、住宅用火災警報器の点検方法について広報しました。



【ストップ、ドロップ&ロールの様子】



【住宅防火・防災広報の様子】

◆ 消防キャンプを開催

周南市消防本部（山口）

周南市消防本部では、令和5年8月23日（水）、24日（木）の1泊2日で、管内の少年消防クラブに所属する小学5年生と6年生を対象とした、消防キャンプを開催しました。

これは、少年消防クラブ員に消防業務への理解を深めてもらうとともに、幼少期から防災意識の高揚につなげることを目的として開催したものです。

当日は、6人が参加し、消火活動やロープ渡過を体験してもらったほか、段ボールベッドでの就寝や、アルファ米などの防災食を食べるなどの避難所生活を体験してもらいました。

今後も、少年消防クラブ員の育成に努め、地域防災力の強化を図ってまいります。



【消防キャンプの様子】

◆ 防災キャンプにおいて広報活動を実施

備北地区消防組合消防本部（広島）

備北地区消防組合消防本部では、令和5年8月26日（土）、防災キャンプにおいて広報活動を実施しました。

これは、地域主催の防災キャンプの参加者に対して、防火・防災について周知し、非常時における行動力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、参加者にC A F S付消防ポンプ自動車を活用した泡（バブル）放水体験、手作り起震車体験、非常食や防災グッズの展示と作成体験、災害救助犬によるデモンストレーションなどを通じて、災害時における自助、共助の重要性について周知しました。

今後も地域と連携して、防火・防災の普及啓発に努めてまいります。



【泡（バブル）放水体験の様子】

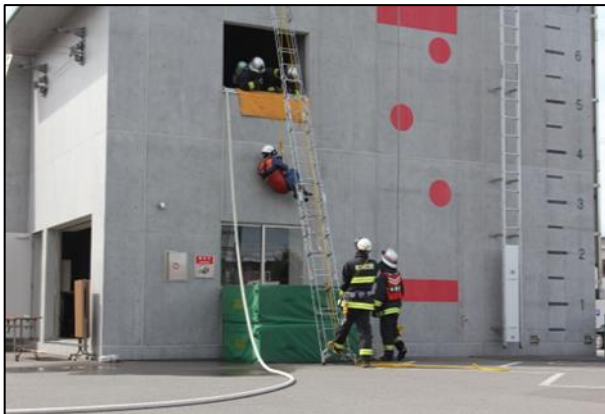
◆ 「第19回滝川消防署防火フェスティバル」を開催

滝川地区広域消防事務組合消防本部（北海道）

滝川地区広域消防事務組合消防本部では、令和5年8月27日（日）、「第19回滝川消防署防火フェスティバル」を開催しました。

これは、来場者に消防・救急業務を体験していただき、防火意識の高揚と、安全・安心な地域作りの構築を図ることを目的として開催したものです。

当日は、約400人が参加し、放水体験、はしご車搭乗体験、煙体験、救急体験などの各種体験コーナーを設けるとともに、火災・救助活動を想定した訓練展示を行い、防火・防災意識の向上を図りました。



【防火フェスティバルの様子】

◆ 防火ポスターを作成

和泉市消防本部（大阪）

和泉市消防本部では、令和5年8月28日（月）、令和5年秋季全国火災予防運動に当たり、防火ポスターを作成しました。

このポスターは、当市の女子サッカークラブチーム「和泉テクノFC」の選手とコラボして作成したものです。

消防長をセンターフォワードに配置し、「ともに守ろう ホームタウン」をスローガンとして、当消防本部の職員と選手が一丸となって、火災予防運動期間中の広報活動を実施してまいります。



【防火ポスター】



【撮影時の様子】

◆ 予防救急啓発動画をY o u T u b eに公開

可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和5年8月30日（水）、「グッドエンディング ～甦れ、生命～」と題した予防救急啓発動画をY o u T u b eに公開しました。

この動画は、予防救急や心肺蘇生法の普及啓発を目的として、当消防本部の職員が企画、脚本、演出、撮影、編集、作詞作曲、歌のすべてを作成したものです。

命の危機が迫ったとき、焦りとともに「あのとき、〇〇しておけば・・・」と、そんな気持ちを動画で表現しようと、分かれ道まで時を戻す「過去に戻る救急車」を舞台に、「グッドエンディング」となるドラマになるよう工夫しました。

ぜひ、多くの方々に視聴していただけると幸いです。



【動画の様子】



【Y o u T u b e の二次元コード】

◆ 第7回救急技術発表会を実施

諏訪広域消防本部（長野）

諏訪広域消防本部では、令和5年9月4日（月）、救急医療週間に当たり、第7回救急技術発表会を実施しました。

本発表会は、119番受報時における、通信指令員の的確な情報聴取と迅速な状況把握の能力と、救急隊員の病態に応じた迅速な観察、適切な処置、関係者への接遇能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、地域メディカルコントロール協議会在籍の医師をお招きし、医学的見地からの助言をいただき、通信指令員と救急隊員の連携強化と能力向上を図ることができました。

今後も、傷病者や関係者に配慮した活動を行い、地域住民の負託に応えてまいります。



【発表会の様子】

消防庁通知等

◆ 既設の地下に埋設されたタンクに関するフォローアップ調査（第18回）の集計結果及び適切な指導について（通知）

（消防危第256号、令和5年9月5日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物の規制に関する規則等の一部を改正する省令（平成22年総務省令第71号）等により、既設の地下に埋設されたタンクのうち、設置年数、塗覆装の種類及び設計板厚から腐食のおそれが高いもの及び特に高いものを対象に、内面コーティング、電気防食等の流出防止対策を講ずることとしています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230905_kiho_1.pdf）に掲載されています。

（問合せ先）
消防庁危険物保安室
千葉、北中、渥美
TEL 03-5253-7524
fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

◆ 消防本部における定年引上げに伴う高齢期職員の活躍等のための対応状況調査結果について
（消防消第291号、令和5年9月12日）

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

日頃より、消防行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度から、地方公務員における定年が段階的に引き上げられ、消防本部における定年引上げに伴う高齢期職員の活躍等のための対応については、「「定年引上げに伴う消防本部の課題に関する研究会」報告書について」（令和4年11月25日消防庁消防・救急課事務連絡）等でお示した対応及び留意点を参考に、取り組んでいただいていることと承知しております。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230912_shoukyu_291.pdf）に掲載されています。

消防庁消防・救急課
職員第二係 田邊・松本・坂口
TEL：03-5253-7522
FAX：03-5253-7532
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

報道発表

◆ 『消防応援大使』の任命

(令和5年9月5日、消防庁)

消防庁では、新たに「消防応援大使」を創設し、あらゆる年齢層や媒体に向け、各種施策の情報発信を拡充することとしており、その一環として、9月30日からテレビ放送されるアニメ「め組の大吾 救国のオレンジ」原作者の曾田 正人氏、及び主要キャラクター3名の声優である、榎木 淳弥氏、八代 拓氏、佐倉 綾音氏を、「消防応援大使」第1号として、松本総務大臣から任命しました。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20230905soumu.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁総務課広報係

小野、安藤、シーザー、浅野

T E L : 03-5253-7521

E-Mail : fdma-soumuka-kouhou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 令和5年度全国少年消防クラブ交流大会を開催します

(令和5年9月8日、消防庁)

消防庁では、平成24年度から、将来の地域防災の担い手育成を図るため、全国の少年消防クラブが集い、消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めることを目的として、「全国少年消防クラブ交流大会」を開催しています。

令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、中止としていました。今年度は、鳥取県米子市において、17都道府県から37クラブ257名が参加し、9月16日から9月17日の2日間、4年ぶりに同大会を開催します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230908_chibou_1.pdf) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁国民保護・防災部地域防災室

平山課長補佐、野崎事務官、浮田事務官

TEL : 03-5253-7561

E-mail : chiikibousai/atmark/ml.soumu.go.jp

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。